

## 令和 2 年度 学校評価報告書

園名 三田市立母子幼稚園

## 1 教育目標

一ふるさとを愛し、よく考え、心豊かにたくましく生きる園児の育成—  
「やってみよう たのしもう つづけてみよう」

## 2 今年度の重点目標

- 少人数の特性を生かした保育の創造
- 幼児の主体性を育む保育の創造
- 人とかかわる力を育てる保育の創造

## 3 総合的な自己評価

少人数のよさと課題を踏まえ、教師の関わり方を探ってきた。また小学生や近隣園などとのつながりを大切にしながら、心を動かす直接体験と感情体験を重ねられるようにした。また興味のある活動を基盤とし、そこから様々な活動を広げながら「できた」という充実感を重ねることで、自分らしさを発揮しつつ意欲的な姿が見られるようになってきている。

## 4 総合的な学校関係者評価

コロナ渦ではあるが、幼児の興味に沿った大自然の中での活動を工夫していた。地域の身近な自然に関わりながら、その中で育つ姿は、母子の理想の幼児教育である。また近隣園との継続的な交流などで豊かな人的経験をするのも意義があったようなので、今後もそのような母子ならではの幼児教育を進めていけるよう引き続きお願いしたい。地域としてさらにバックアップ、サポートしていきたい。

## 5 評価結果

自己評価				学校関係者評価
分野・領域	評価項目(取組内容)	評価結果及び分析	改善の方策	学校関係者評価委員会の意見
教育課程	○幼児教育の視点をもとに少人数のよさを生かした援助の在り方を探り、母子ならではの工夫された保育を創造する。	・小学校の教育プランの大筋を幼児期から方向性を一本化し発達の段階に沿って意欲がわくよう活動を援助した。	・母子小学校の教育プランを教師がよりよく理解することで、めざす子供像が見えてくる。	・母子の教育は昔から幼稚園を含め、小学校6年生までの8年間を通して行われている。そのことを今一度再認識し、幼小一つになって考えることが大切だ。幼稚園と小学校の教育方法は、年齢に応じて異なっていることは承知だが、育てたいものは小学校と幼稚園がぶれずに教育の方向性を1つにし、大いに連携をとりながらそれぞれやってほしい。また豊かな母子の地域環境を引き続き教育活動に生かして欲しい。
	○遊びや生活の中で、幼児の思いを大切に、試したり工夫したりする姿を支え、幼児の主体性を育む。	・園児の興味に沿って援助し、次第に多様な活動へと広がっていくよう環境を工夫していくようにした。	・幼児の興味関心は偏ってしまうので、教師が広い視野・知識をもつように努める。	
	○地域や自然との関わりの中で、興味や関心を高め、遊びや生活を豊かにする。	・地域の自然の中に出向くことで様々な発見をしながら、興味をもったり、感じたりする姿が見られた。	・地域の自然環境は奥深い。それについて教師がさらに教材研究を進めていく。	
	○小学生、未就園児、地域の方、他園の友達等、様々な人とふれ合う活動を通して、人とかかわる力の基礎を養う。	小学生と関わりながら活動することができ、就学に向かって、期待をもって活動することができた。	・近隣園との交流について回数を重ねられるよう様々な方法を工夫していきたい。	
保健管理	○進んで手洗いやうがい、歯磨きをし、健康な生活を作り出す力を養う。	・手洗い等、基本的な生活習慣は定着してきている。	・生活習慣が定着した姿を次年代へ工夫して継承する。	・自分のことが自分でできることは望ましい。引き続き指導に努めてほしい。
安全管理	○様々な災害を想定した教育を計画・実施し、幼児の安全意識を高める。	避難訓練に参加しその機会を逃さず年齢に応じた形で丁寧に伝えていった。	・何度も繰り返すことで安全感を身に付けていく。	・今年度は阪神地域合同防災訓練が実施され、園児も防災についての意識づけとしてよい経験となったのではないかと。
人権教育	○幼児の体験や経験を通し、自尊感情を育むとともに、相手を思いやる心を育てる保育を創造する。	・大切にされているという実感が基盤となる。近隣園との交流で温かい心を通わせ、その体験から大切にされる心地よさを味わった。	教師がより人権感覚を豊かにし、人との触れ合いの姿から、優しさや思いやりの芽をひきだしていくようにする。	・幼児期は体験から人権感覚が育まれる。近隣園の交流で優しく関わってもらえる経験は互いに思いやる人権感覚を育む。今後も日々の人権保育と合わせ、交流活動も続けてほしい。
子育て支援	○預かり保育を実施する。そして未就園児との交流については内容を検討し、楽しい関わりの場となるように工夫していくようにする。	・週一回、預かり保育を実施した。預かり保育を実施することで、幼児は発達段階に応じた活動を、時間を存分に活用し体験することができた。	・預かり保育の内容を工夫する。また園庭開放、図書の利用も工夫し、より支援が充実するよう考えたい。	・園庭開放では地域全体の縦の関係がより充実する場である。今後も様々な工夫しながら継続して計画実施して欲しい。

## 6 学校自己評価の実施状況について

時期	内容
9月	運動会についての保護者へのアンケートを実施
10月	オープンスクールアンケートを実施
11月	芸術の集いについての保護者へのアンケートを実施
12月	保護者への教育アンケート実施
3月	生活発表会アンケートを実施
3月	職員による学校評価

## 7 学校関係者評価委員会の活動について

期日	内容
5月	第1回学校関係者評価委員会(年間計画について)
7月	第2回学校関係者評価委員会(今後の行事予定について)
9月	第3回学校関係者評価委員会(今後の行事予定について)
9月	阪神地区合同地域防災訓練を学校地域で見学
12月	第4回学校関係者評価委員会(今後の行事予定について)
3月	第5回学校関係者評価委員会(学校評価のまとめ)

## 8 学校評価の公表について

時期	手段	内容	添付
3月	保護者との懇談会及び学校関係者評価委員会にて公表	教育アンケート・学校評価の結果及び今後の改善策を記載し、学校関係者評価委員会で意見をうかがう。	
3月	幼稚園ホームページにて公表	学校評価の結果及び評価委員会での意見を含めた今後の改善策を記載する。	

※ 公表の具体がわかる印刷物等がある場合には添付願います。

※ 行は、適宜加除願います。